

# 「きらめきセミナー」開催

## ～農村で輝くママ達を応援します～

農業経営の発展や農村の活性化に向けて、次代を担う女性農業者の農業と生活に関する知識・技術の習得と仲間づくりをめざして、今年度から「きらめきセミナー」を開催しています。

セミナーでは多世代家族の暮らし方のコツを先輩から聞いたり、快適な作業環境事例を視察したり、夢の実現にむけたライフプランづくりなどを学んだりします。また、子供連れでも参加したいという要望に応え、アグリライフ山武の会員が子育てボランティアを担い、お母さん達の勉強の手助けをしています。

栽培技術を知りたい、献立のレパートリーを増やしたい、同世代の仲間と情報交換したい、など一人一人の声を大切に、若い女性農業者が家庭や地域でいきいきと輝いて暮らせるよう支援していきます。



情報交換で盛り上がりました



先輩から農家の味を教わります

# 夢が広がる！花づくり講座が始まりました

九十九里町では「人の集まる九十九里町が農業を活性化する」をテーマに町の魅力アップを目指しています。その中で今年は周年で花摘みが楽しめるような花品目の選定や直売の可能性を検証するため、8月9日(木)に「九十九里町花づくり講座」を町との共催で開催しました。参加者は、花づくりに関心のある4グループ30名の方々です。第1回目は今年栽培に取り組む花品種の栽培管理のポイントを学びました。今後グループごとに立てた栽培計画にもとづき、種まき、育苗、定植といった作業を実践していきます。今後は、花摘み園の先進視察や試験販売も予定しています。この冬は、キンセンカ、葉ボタン、ベニジウムなど一足早い春を九十九里町で感じることができるようでしょう。



グループごとに計画などを話し合います



一粒ずつ種を蒔いていきます

## 観葉・鉢植木をPR 夏の農場見学会開催！

7月25日、海匠・山武・香取の花き生産者有志“ちば花と緑の会”による観葉・鉢植木の農場見学会が開催されました。花き市場・小売店等の招待者60名、生産者30名、関係機関10名の約100名が7農場をマイクロバスで回りました。山武管内からは、観葉植物2名、鉢植木1名が農場公開に取り組みました。

地域と品目を越えて様々な商品がそろそろ産地としてのPRも4年目となり、花き関係者からは、生産者との情報交換だけでなく他市場や小売店同士の情報交換の場としても貴重との意見もありました。花き業界関係者へ向けて北総地区の観葉・鉢植木をPRした取り組みが成果をあげ始め、今後のさらなる発展が期待されます



100名もの人が集まりました



圃場での商談にも熱が入ります

# シリーズ・品目横断的経営安定対策 第2回

## 米だけでの加入もできます

「こんなに安くては、コンバインの更新ができない」・・・最近よく聞かれる話です。農水省が発表している平成18年産米生産費統計からも、水稻経営の苦しい状況が見えてきます。60kgあたりの販売価格が12,600円で、10aあたりの所得が34,000円となっています。こうした状況から稲作農家を守るために「品目横断的経営安定対策」が始まりました。この対策には、販売価格の低下を補う「収入減少緩和対策」があり、米だけでの加入ができます。

補てん金の原資(拠出金)は、農家25%に対し、国75%の割合で準備されます。補てん金額は、「標準的な収入額」と「その年の収入額」を比べ、下落額の9割になります。なお、「標準的な収入額」と「その年の収入額」は加入者の個別に計算するのではなく、各県ごとに農水省が決めます。

## 今年の場合

今年は、農家の拠出金が、10aあたり3,100円、国の拠出を合わせると12,400円が準備されています。「今年の収入額」が1割以上低下した場合、満額の補てん金が支払われます。満額(支払の上限額)は、拠出金12,400円です。5ha加入した場合の補てん金は、62万円、加入者が負担した拠出金を差し引いても46万円が支払われ、減収を補うことができます。なお、この対策に加入するには、生産調整を実施し、集荷円滑化対策に参加する必要があります。

## シリーズ・農産物加工販売へのステップ 第2回

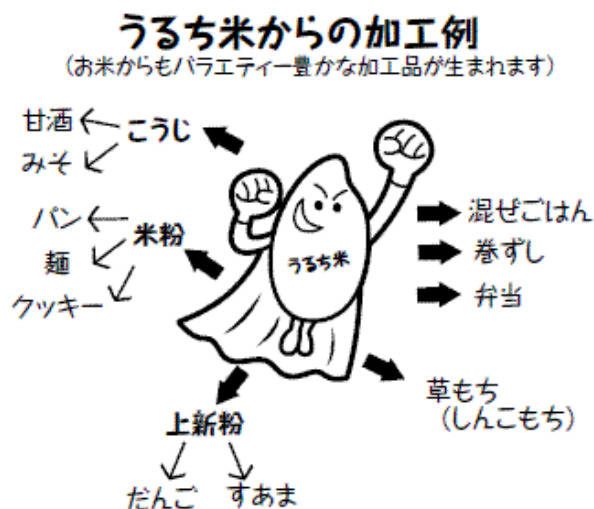
# こだわりの加工品をつくろう！

商品開発は地域の特色を生かした味づくりで、郷土色・伝統色を盛り込むことがポイントです。また、どんな人に買ってもらいたいかを明確にしておくことも大切です。そしてこだわりの商品は、主な材料が地元産であるとか、手間ひまかけて手作りしている、健康を意識した素材を使っているなど、商品の特徴「売り」を明確にすることが重要です。また常に同じ品質の商品が出来上がるようすることも大切です。

自家生産物や地域の農産物を活用して、自信のある加工品の技術を確立していきましょう。

### ○商品均一化のためのポイント

1. 原材料の吟味と準備
2. レシピの確立
3. 包装の仕方
4. 出来上がり商品のチェック



シリーズ・<sup>とも</sup>男女に地域農業を創る！ 第1回

## いきいきアドバイザー誕生

千葉県では地域の農業振興や男女共同参画で町づくりに積極的に取り組んでいる方を「千葉県農山漁村いきいきアドバイザー」として認証しました。県下 32 名の認証者の内、山武地域では下記の 7 名の方がアドバイザーとなりました。

- **東金市**  
鈴木隆子氏(起業活動推進)
- **山武市**  
鈴木和子氏(交流活動実践)  
並木とき子氏(社会参画推進)
- **大網白里町**  
稻生重子氏(起業活動推進)  
板倉小百合氏(経営参画推進)
- **九十九里町**  
作田恵美氏(経営参画推進)
- **横芝光町**  
押尾芳江氏(経営参画推進)

男女が共に能力を発揮して経営参画・社会参画で、経営向上および地域農業活性化の推進役として活躍を期待されています。

主な役割としては、1. 女性の経営参画への積極的な推進 2. 起業活動の推進や農林水産業の振興に関わる活動 3. 農山漁村の生活技術・生産技術・文化の伝承などで、交流活動の実践と地域への波及を活動の目標としています。各人が持ち味を活かした取り組みで皆さまと共に活動を進めていきます。

お問い合わせは各市町・山武農林振興センター振興普及部改良普及課まで